


第2章 Windows の基本操作

パソコンを操作するには、パソコンに対して何らかの「命令」や「指示」をする必要があります。以下の章で説明するように、パソコンの電源を入れると、Windows という基本ソフト（オペレーティングシステムまたは、OS とも言う）が起動しますので、パソコンの操作は、基本的には Windows 環境のもとでのパソコン操作となります。

Windows に対して、「命令」や「指示」を与えるには、通常、キーボードから入力したり、マウスを使います。

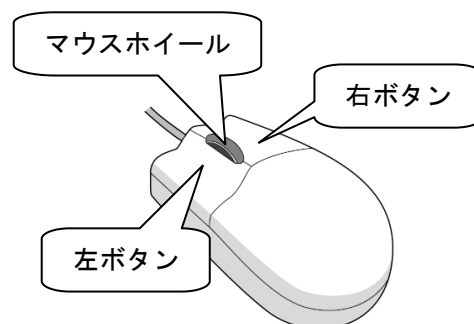
この章では、実際にパソコンの電源を入れて Windows が起動して、（第3章参照）Windows の初期画面が現れてからの、パソコン操作上必要となる事項について説明をしています。

2.1 マウスの操作

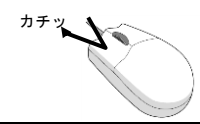
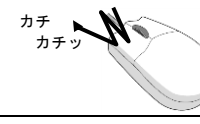
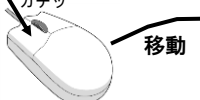
Windows が起動すると、マウスが使用可能になります。マウスをマウスパッド（机上の長方形のマット）の上で動かすと、その動きに連動して画面上の矢印  が動きます。この矢印のことをマウスポインタといい、画面上の位置を示しています。画面上の特定の場所で、その場所に固有の項目を指定したり選択をして、Windows に何らかの命令をするときには、マウスに付いているボタンを押します。


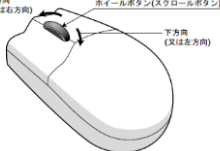
マウスには、左ボタンと右ボタンとマウスホイールがあります。

マウス操作には、クリック、ダブルクリック、ドラッグ、右クリックの4通りの方法があり、その他マウスホイールを使用するスクロールがあります。（下記参照）



●マウス操作

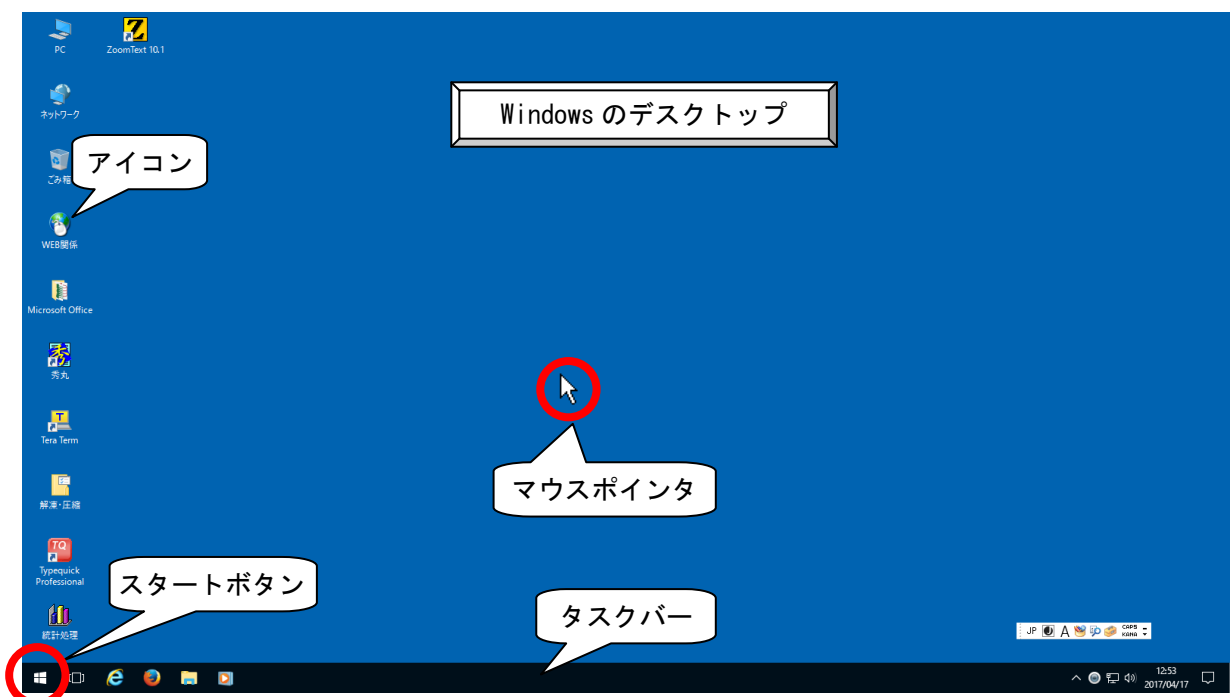
操 作 名	操 作 方 法	
クリック	マウスの左のボタンを1回押すこと。 選択する時に使います。	
ダブルクリック	左ボタンを素早く2回カチカチッと押すこと。実行・起動する時に使います。	
ドラッグ	左ボタンを押しながらマウスを移動させること。範囲指定をする時に使います。	

操 作 名	操 作 方 法	
右クリック	右のボタンを1回押すこと。 メニューを出す時に使います。	
ポイント	目標のものの上にマウスポインタを合わせること。	—
スクロール	ホイールを奥に回す(押す)と画面が上(画面によっては右)方向にスクロールされ、手前に回す(押す)と画面が下(画面によっては左)方向にスクロールされます。	

2.2 Windows の初期画面(デスクトップ画面)

Windows が起動した直後の初期画面のことを、Windows のデスクトップ画面といいます。下図に Windows のデスクトップに表示されている各部の名称を示します。

中央に見える矢印はすでに説明してあるマウスポインタです。左側に並んでいる絵文字はアイコンと呼ばれます。最下行の横棒をタスクバーと呼んでいます。タスクバーの最左端にはスタートボタンがあります。スタートボタンをクリックすると、Windows のもとで可能な各種プログラムの起動、ファイル管理などの処理を実行することができます。



※ 実習室により多少異なります

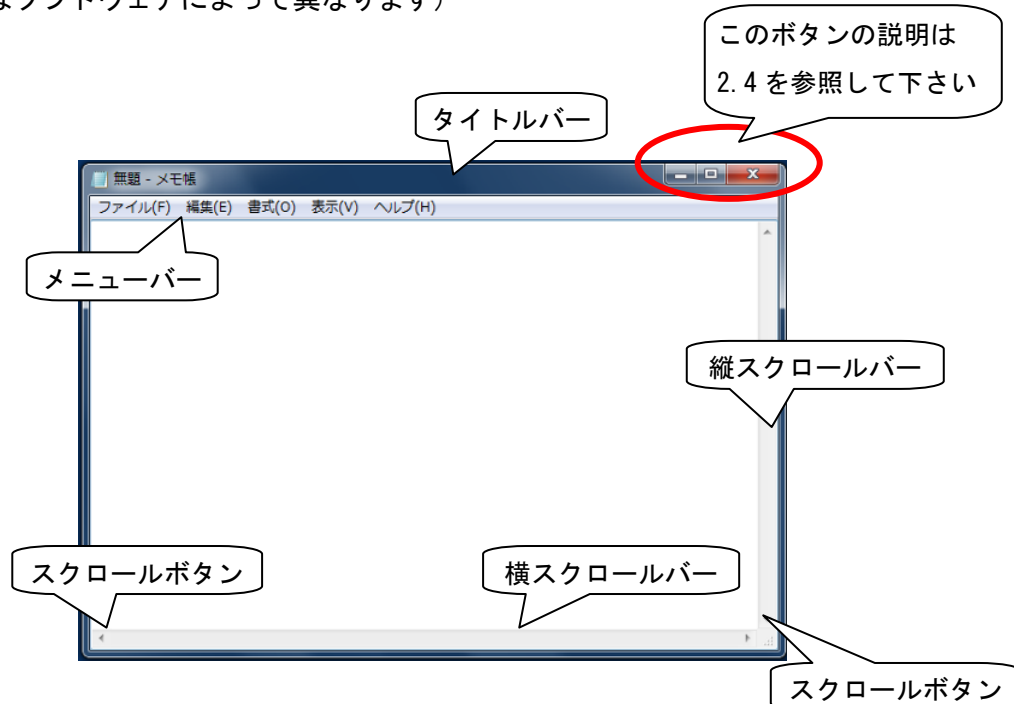
2.3 Windows 上で動くソフトウェアが起動した時の「初期画面」

Windows 上で作動するソフトウェアを起動すると、下図のようなウィンドウと呼ばれるものが表示されます。このウィンドウはどのソフトウェアを起動したときも、基本的には共通のものです。ウィンドウ最上部の横棒はタイトルバーと呼ばれ、ソフトウェアのタイトルや、今現在開いているファイルのタイトルが表示されます。

ウィンドウの右と下に表示されているのは、スクロールバーです。スクロールとは、ウィンドウの大きさに収まり切らない表示内容を上下左右にずらす操作のことをいいます。(ウィンドウに収まっている場合はこのスクロールバーは表示されません)

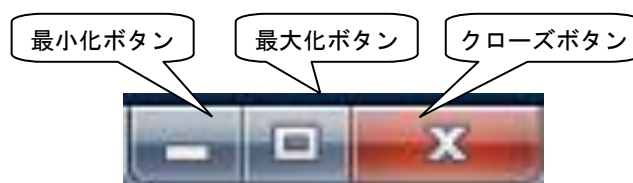
スクロールボタンはボタンを1回クリックすると1行又は1欄表示内容全体が移動します。スクロールバーはドラックすると、表示内容は連続的に移動します。

メニューバーは、そのアプリケーションで行う様々な作業のメニューです。基本的な項目としては、「ファイル」、「編集」、「表示」、「ツール」、「ヘルプ」等があります。(項目の内容はソフトウェアによって異なります)



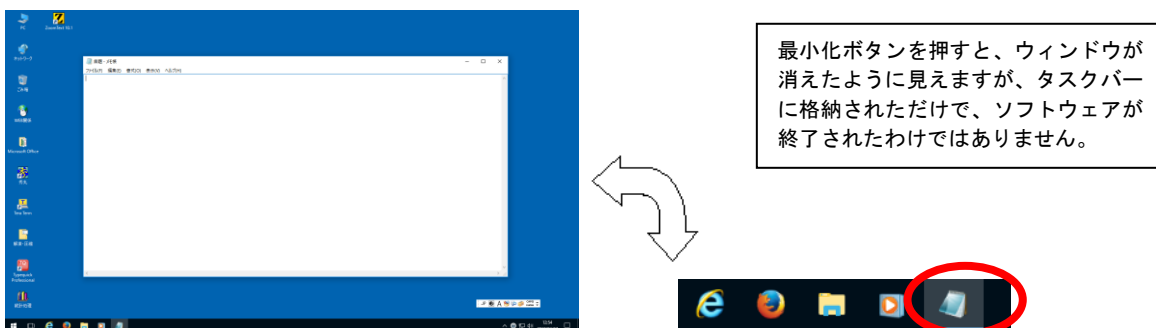
2.4 Windows 画面上で開く「ウィンドウ」を操作するボタン

開いているウィンドウの開閉や大きさに関するボタンには次のようなものがあり、これらはタイトルバーの最右端に並んでいます。




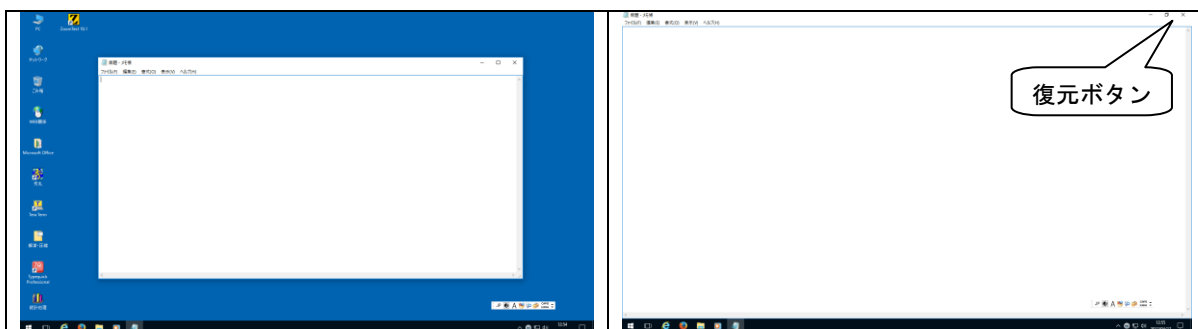
① 最小化ボタン

このボタンを押すと、ウィンドウがタスクバーに一時的に格納されます。元に戻すときには、タスクバー上に表示されている当該ウィンドウ（タイトルが表示されています）をクリックしてください。クリックすると、先ほどの大きさに戻ります。



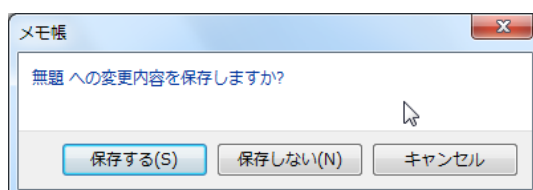
② 最大化ボタン

デスクトップの画面より小さいウィンドウを画面全体に広げて表示させることができます。元の大きさに戻す場合は、復元ボタン  を押します。最大化ボタンと復元ボタンは同じ位置にあり、状況に応じてボタンの図柄が変わります。



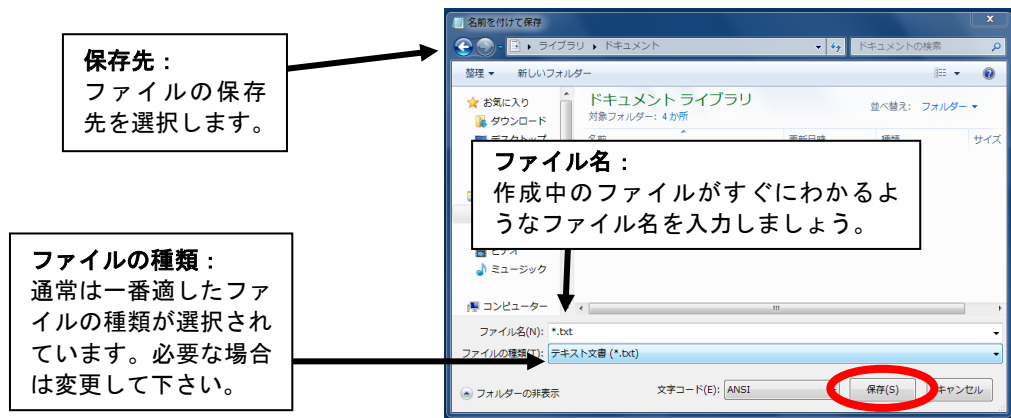
③ クローズボタン

ウィンドウを閉じると同時に、今起動しているソフトウェアを終了させることができます。利用者が、ウィンドウに表示されている内容に何らかの変更を加えた後に、この変更内容をもととのファイルに保存しないでこのボタンを押すと、ソフトウェアによっては、以下のような对话框を発行してきます。この場合、「はい」を選択すると、ウィンドウに表示されている内容を保存することができます。「いいえ」を選択すると、保存をせずにソフトウェアを終了することになります。



ウィンドウに表示されている内容を初めて保存するときには、ファイル名をつけるウィンドウが表示されます。

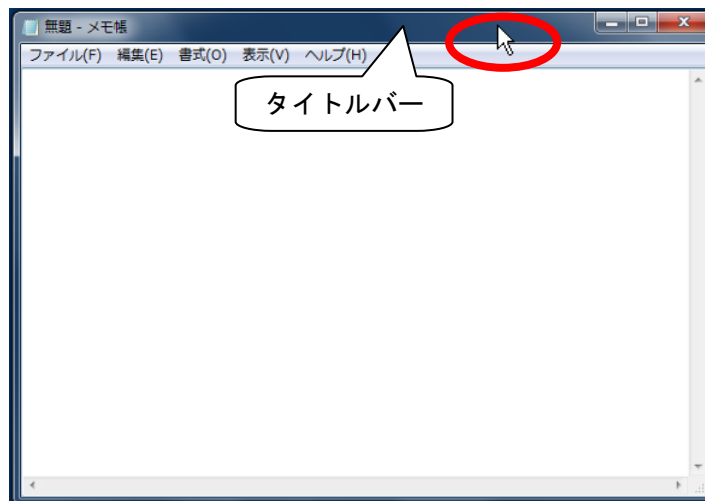
ファイルの種類を指定し、ファイル名を入力して「保存」ボタンを押します。



2.5 「ウィンドウ」の操作

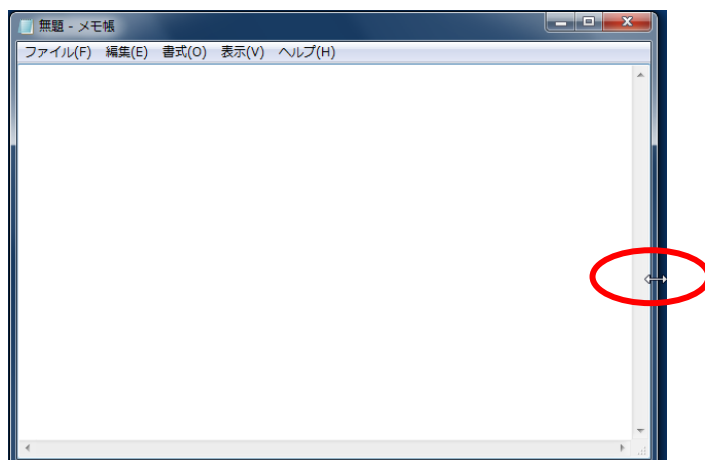
① ウィンドウの移動

起動しているウィンドウの大きさを変えないで移動するには、タイトルバーをドラッグします。

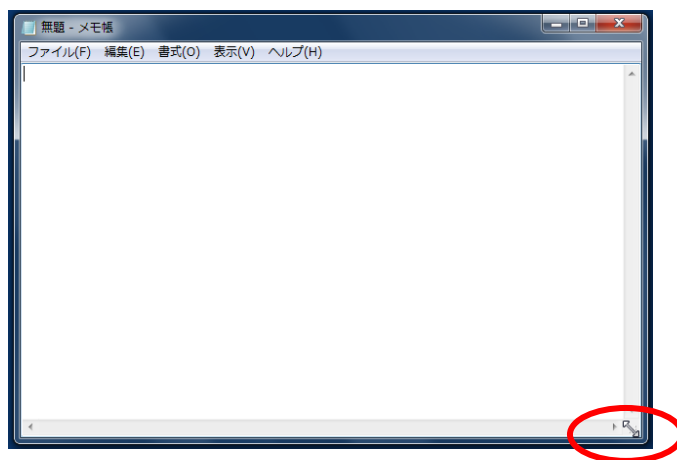


② ウィンドウの大きさの変更

ウィンドウの境界線上にマウスポインタを乗せると、マウスポインタの形が変わり、矢印の方向に対して窓の幅を拡大・縮小できます。下図の場合には左右の方向に窓の大きさを変更することができます。



また、上下左右のウィンドウの大きさを一度に変えたい場合には、四隅にマウスポインタを乗せます。斜めのマウスポインタになり、窓の大きさを変更することができます。



2.6 日本語の入力

Windows を起動した直後には、文字を入力するときの状態は、通常は「半角のアルファベット入力」の状態になります。これを日本語が入力できる状態にするには、日本語入力を ON の状態にしないといけません。

デスクトップ画面の右下の方に下図のようなものがあります。これは「MS-IME」と呼ばれる日本語を入力するためのソフトです。



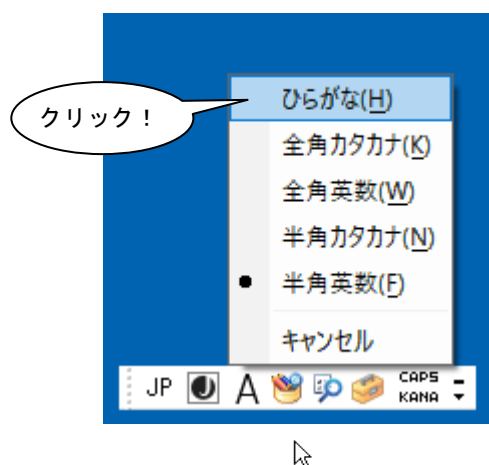
(図 : Microsoft Office IME)

「ひらがな日本語入力」を ON にする方法は、次の 2 通りがあります。

- ① キーボードの **半角／全角** キーを押します。IME が下図のようになり、日本語が入力できる状態になります。



- ② **A** をマウスでクリックすると、以下のような各種文字入力状態の一覧が表示されるので、「ひらがな」をクリックします。このとき、「ひらがな」の前に「●」印が付き、**● ひらがな(H)** のようになると、「ひらがな日本語入力」が可能になります。



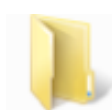
2.7 ファイルの管理

2.7.1 ファイルとフォルダ

- ① ファイルとは、パソコンで処理可能なひとまとまりのデータを保存したもので、文書ファイル、音声ファイルや画像ファイルなどいろいろの種類があります。下図のような絵文字をファイルアイコンといい、アイコンの形はそのファイルがどのような内容か（どのようなソフトウェアを使用して作成されたか）を示しています。



- ② フォルダとは、一般には複数個のファイルを、その種類や作成目的などによって分類して格納しておく場所のことを言います。フォルダは次のようなアイコンによって示されます。

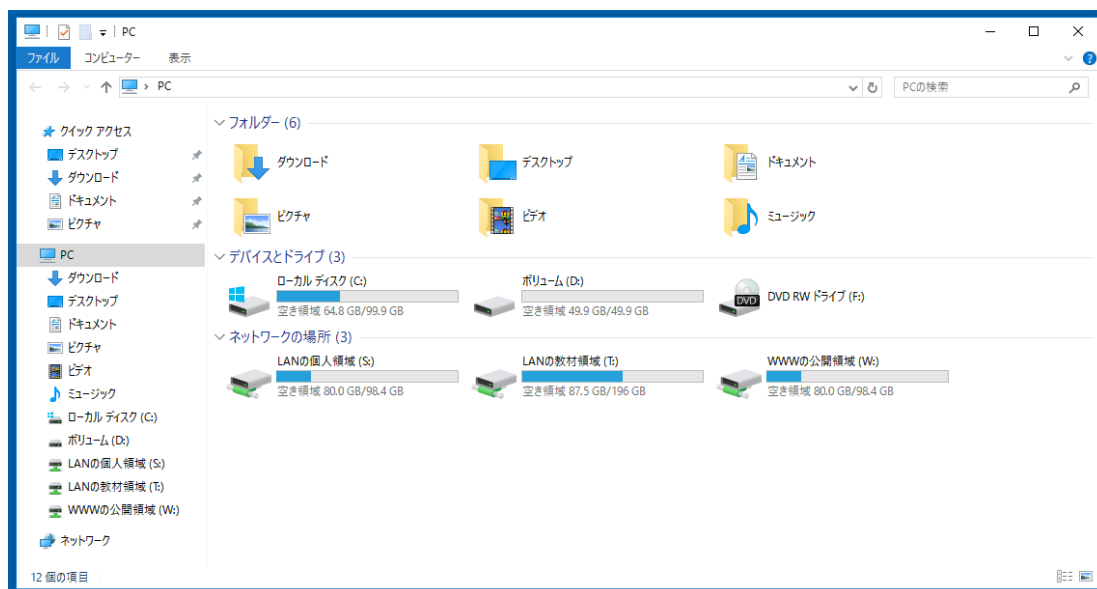


2.7.2 マイコンピュータからのファイル操作方法

マイコンピュータは、パソコンに接続されている全てのドライブが表示され、アクセスできるフォルダです。この項では、フォルダ・ファイルにアクセスする方法をご説明します。

- ① デスクトップ上の、マイコンピュータをダブルクリックします。

下図のような画面が表示されます。



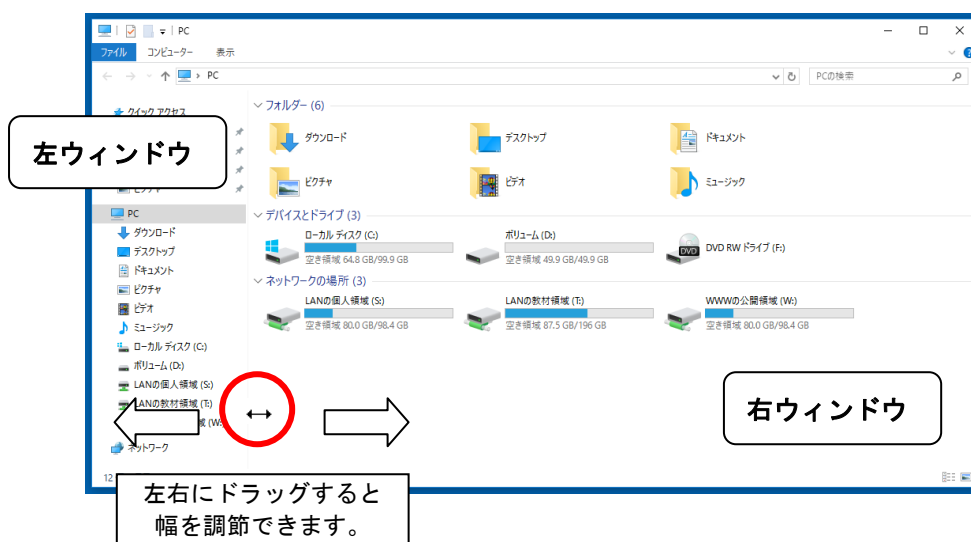
当センター実習室のマシンは、以下のような環境で起動します。

ドライブ名	画面上表示される名前	備考
C ドライブ	ローカルディスク (C:)	起動後に保存した個人ファイルは、再起動すると削除されます
D ドライブ	ローカルディスク (D:)	起動後に保存した個人ファイルは、再起動すると削除されます
E ドライブ	DVD/CD ドライブ (E:)	CD-R、CD-RW、DVD±R、DVD±RW、DVD-RAM への書込みができます
S ドライブ	LAN の個人領域 (S:)	個人用領域 (home-X¥ユーザー ID¥win の X は利用者により異なります)
T ドライブ	LAN の教材領域 (T:)	学内において共同で利用できる教材
W ドライブ	WWW の公開領域 (W:)	個人用 Web 用領域 (home-X¥ユーザー ID¥public_html の X は利用者により異なります)

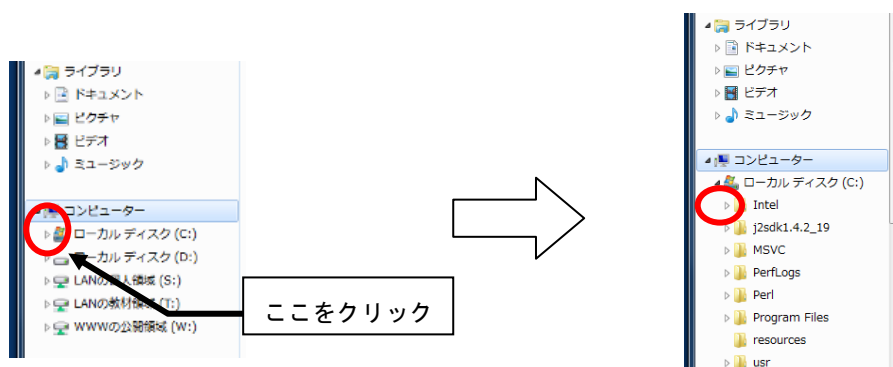
- ② コンピュータの左ウィンドウにファイルの階層的な構造が表示されます。これにより、ファイルやフォルダを簡単に扱えると同時に、パソコンに格納されているファイルの階層的な構造が一目で分かります。

左のウィンドウでハードディスクやDVDなどのドライブ（前頁参照）やディレクトリ類が選択でき、右のウィンドウにそのドライブやディレクトリの内容が表示されます。

また、両ウィンドウの境界線をドラッグすることで、表示幅を変えることができます。



- ③ 左のウィンドウは、ディスクの構成が「階層構造」で表示されています。さらに下の階層がある場合は、アイコンの前に▷の記号がついています。



▷の記号をクリックすると、下の階層にあるフォルダが展開され表示されます。さらに下の階層がある場合は、さらに▷がつきます。▶をクリックすると今まで展開されていたフォルダが折りたたまれます。

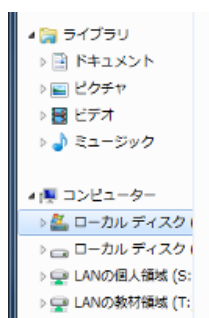
フォルダを展開していくと、木の枝のように枝分かれしていくので、このような階層構造のことを、「木構造」又は「ツリー構造」とも呼びます。一番根本にあたる部分を根という意味で「ルート」と呼びます。

2.7.3 フォルダの作成

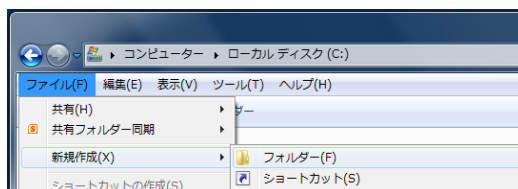
フォルダを新規に作成する方法を示します。

- ① フォルダを作成したいドライブ、または、フォルダをクリックします。(例としてCドライブにフォルダを作成します)

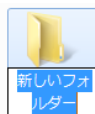
このとき指定されたドライブ又はフォルダは下図のように青く表示されます。



- ② メニューバーからファイルをクリックし、その中の新規作成を選び、さらに右欄にある「フォルダ」をクリックします。



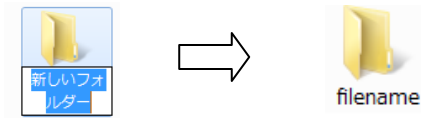
- ③ 選択したドライブ又はフォルダに下図のような「新しいフォルダ」が作成されます。



- ④ 新しく作成されたフォルダの名前はこの状態では「新しいフォルダ」です。フォルダの名前を変えるには、作成されたフォルダをマウスで指示し、右クリックすると、ショートカットメニューが表示されますので、その中の「名前の変更」をクリックします。



- ⑤ フォルダの名前のところにカーソルが表示されますので、新しい名前（下の例では“filename”ですが、分かりやすい名前が良いでしょう。）を入力します。入力後、Enter キーを押すと確定されます。



あるいは、③の状態で、「新しいフォルダ」という名前の部分を左クリックしても、フォルダの名前のところにカーソルが表示されますので、上と同様にしてフォルダ名を変更できます。